

伊那民報

発行
日本共産党
伊那市委員会
伊那市狐島3879
有線7(72)2465

市の借金811億円、市民負担多額に

伊那市の23年度決算によると、市債残高(公営企業会計分を含む)は、811億円(交付税措置されるものあり)となり、現在から将来までの市民の負担が多額になります。

今、開発公社の解散にともなう22億近い借金の肩代わりや、合併特例の地方交付税が平成28年から5年間で、段階的に8億5千万円も減らされるほか、広域消防署建設費と新しく中間処理施設建設の負担金等新たな課題があります。

市民には値上げなどの負担

市は、財政再建のためと言いつ、下水道料金的大幅な値上げ、介護保険料の値上げ、各種補助金の切り下げなどで市民に負担を押し付けています。

新事業は市民の声を聞いてから

今年には幹線道路網整備計画の推進で、9月議会にスマートインター関連予算1千万円が復活し、関連道路改良なども含めると15億近い

予算が必要です。環状南線は事業費27億5千万円を予定しており、合併特例債の期限となる平成32年完成を予定しています。道路関連の新たな事業の執行には、市民への説明が必要です。また、市税収入を増やすためにリフォー

今度こそ議席を

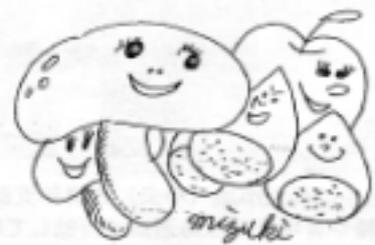
衆議院比例代表予定候補 藤野やすふみ

「第35回・赤旗信州秋まつり」に参加。井上さとし参院議員、小選挙区候補の皆さんと終日一緒です。たくさんの方々が、1年ぶりに私を迎えてくれました。この1年間、毎日のように、北陸信越5つの県で私に寄せられた、くらしの願い、原発ゼロの願い、政治への願いを会場の皆さんにお伝えしました。

東奔西走記

すべてに共通するのは、「この願いに込められるのは、日本共産党しかない！」という

△補助金などの市内経済活性化策を進める事が大切です。同時に、都市計画の見直しなど事業の計画的推進が必要と考えます。



藤野やすふみ候補(右から3人目)と三沢よしお5区候補(右端)

ことです。「この党の議席を大きくするために、皆さんのお力添えを！」と心から訴えました。3000人を超える方に参加していただき、ものすごいパワーをいただきました！「今度こそ必ず議席を！」の決意を新たにしました。

地蜂

フランスの有月誌「ル・ヌーヴェル・オブセルヴァトゥール」が福島原発事故に関して「最悪の事故はこれから起きる」と報じ、改めて世界の注目を集めています。同誌は「4号機

の水を満たしたコンクリート製のプールには、1535本の使用済み燃料棒が詰め込まれている。そのプールは、この一年半の間、ボロボロになった4号機の建て屋の高さ30メートルの位置に横たわっている。屋根も壁もない。ただの白いビニールの防水シートに覆われているだけだ。」と現状を報じ、「フランスの物理学者ジャン・ルイ・バテヴァンが『まるで精神力のみによって支えられている』かのように見えると言っこの冷却用プールが倒壊したら、2011年3月の60倍の規模の事故を引き起こすことになるのだ」とし、京都大学原子炉実験所の小出裕章氏の「放出される放射能は(広島原爆5000発分)になるでしょう。」という予測を紹介しています(以上要旨)。そうならば福島第一原発には誰も近寄らず、管理不能となって1から6号全機がメルトダウンを起こす可能性もあります。世界が「究極の破局」に繋がることは確実と多くの科学者は見ているといえます。このような現実にもかかわらず野田首相は福島原発事故の「終息宣言」を出し、原発を再稼働させました。国民的怒りに押されてやっと今から四半世紀後の2030年代に脱原発という方針を出したもののアメリカや財界、自民党などの圧力でたちまち曖昧なものに後退させる有様です。その一方で、領土問題で軍拡をあり、消費税増税や9条改憲を「決める政治」へと突き進もうとする危険な政治に未来はありません。

NEC訴訟

証人調べる署名と傍聴への参加を呼びかける

「市民の会」が

NEC住民訴訟は、10月15日、長野地裁で6回目の裁判が行なわれます。

原告団は、被告の小坂前市長と白鳥現市長が市の財産管理を怠った責任追及をしています。また、被告を補助するNECの弁護士と被告側の弁護士の主張が大きく食い違う点を明らかにすることを求めています。

そのために、裁判所が小坂・白鳥両氏を証人として呼び、公正な裁判を求める要請署名を市民のみなさんに呼びかけています。

10月10日までに集約し15日の裁判につなげたいとしています。また、午後4時45分からの裁判の傍聴参加も訴えています。

傍聴へのパスは、伊那市役所駐車場(西側)、午後2時15分発です

「原発をゼロに」 さよなら原発デモ



行進する参加者

9月9日、箕輪町で行われた「さよなら原発上伊那の会」主催の3回目のデモ。200人が参加。子どもと高齢者向けのシヨートコースも設定されました。

増税中止求める

宣伝に共感

9月20日、北陸信越5県の共産党は、総選挙勝利にむけて、藤野やすふみ比例候補、三沢よしお5区候補、地方議員、支部員らが一齐に街頭や駅頭で宣伝しました。伊那では、大萱・中央区・双葉町・春近大橋の各信号前でおこなっていました。

「消費税増税の中止を求める先頭に立っている共産党を総選挙と来年7月の参院選で勝たせてほしい」「増税中止を求める政党を国会で過半数に」などの訴えに、市民からは「これ以上の増税は困る」

・激励広がる

「本当に中止にしてもらいたい」「共産党は力をつけてくれ」などの声と、車からはクラクションや手を振るなどの激励が各地で寄せられました。



宣伝中の前沢市議(中央)と青年支部員ら。西箕輪や青年支部は毎週宣伝行動しています

原水爆禁止世界大会報告会

10月24日(水) 19:

南箕輪村民センター2階会議室

講演 藤森俊希さん

長野県原爆被害者の会会長
日本被団協事務局次長

世界大会参加者報告会

原爆パネル展

主催：上伊那原水協

異質な土地取得

現物目見字と

住民が主人公の市政をめざす「のぞみの会」は、共産党の飯島議員が市議会一般質問で明らかにした過去の伊那市土地開発公社がおこなった土地の現場を8月30日に見学しました。

今から13年前に売買契約書に違反して、移転登記が完了していないのに、土地代金829万円も支払っていた。元市議(故人・小坂樫元元市長の後援会長)の土地で、飯島光豊市議の一般質問後、全額返還されました。



2

山林原野なのに、固定資産税評価額の300倍以上(760㎡ 760万)で取得。その後、評価額の見直しで、2万3560円になっていました。



1

現役市議から3900万円で購入した2方向が水路になっている土地。そのために売れない。



3

信州秋まつり開かれる

恒例の初秋の行事「赤旗信州秋まつり」が9月17日、松本市のやまびこドームで開かれ、全県から三五〇〇人が参加し、伊那市からは八〇人がマイクロバス等で参加しました。小池晃政策委員長や、衆院予定候補の藤野やすふみ比例候補、三沢よしお5区候補等から「国民いじめの今のひどい政治を変えましょう」との力強い挨拶がありました。ステージでの演芸や各地の名産品などの出店も行われて終日、賑わいました。



小池晃政策委員長の講演を聴く参加者



悪質な営業にご注意

飯島光豊

ある市民から全議員宛に情報が寄せられた。それによれば、下水道未接続の知人宅で、ある業者が、国の下水道法にある罰金などをことさら強調した販売促進チラシを配りながら、おどすような工事の営業をしているというもの。

すぐ市の水道部に確認したところ、「全国でも適用事例のないよ

うな罰金などでおどすような営業はしてはならない」と業者を集め、説明会を開いたばかりだとのこと。市の条例でも「ただし、特別の事情があると管理者が認めるときは、その期間を延長し、又は排水設備の設置義務を免除することができ

る。」(市農集排条例第5条)とある。

市は、さつそく、業者を指導して改善されたが、同様の事例が今後起きないとも限らない。

このような悪質な営業にあったら、すぐ、市役所や市議に通報してほしい。

昭和初期の上伊那

2・4事件の頃 10

前号に続いて2・4事件のおきた一九三三年(昭和八年)前後の共産党と革新勢力の状況を見ることにします。

共産青年同盟シンパ団体

伊那町出身の早大生中村勝人は昭和六年三月、郷里へ帰省中に伊那中学時代の同級生に働きかけ、自宅に集まって「共青シンパ団体」を結成し、「無産青年」をテキストに読書会や社会科学者研究講座などを行い、さらに「赤旗」の回し読みなどを行ってきた。

そのメンバーは中村勝人、中村弥門太、春日清彦、埋橋桑人、鹿野節郎、田中政夫、小林勝三郎、鬮沢松雄、松島左都雄、松沢一美、小松盛人、志村文夫、清水宗雄の十二名でした。

日本反帝同盟 上伊那地区委員会

昭和五年の伊那中事件に連座して退学処分を受けていた渡辺為好は、昭和七年に上京し反帝同盟本部員と接触、上伊那にも反帝同盟を作ろうとし

て、同年八月、武田正治、城倉方平らと上伊那地区準備会の結成を決め、郡下の文化サークルや全農関係者、伊那中関係者などに働きかけ、原一平も加わって反帝同盟上伊那地区委員会を結成しました。農村青年班三班、学生班一班があり、一二三名も参加していました。

急速に戦時色が強まる困難ななかで、侵略戦争反対の運動がねほり強く続けられました。特賞資料にも「執拗に運動を続け」と記録されています。

赤色救援会長野支部 上伊那地区

赤色救援会長野支部は責任者の西村平一(西箕輪)が昭和五年に逮捕されて以来、壊滅状態にあったが、昭和七年、西村とともに検挙された埋橋十春(富良野)、唐沢清直(西箕輪)が保釈になるや、本部とは関係なく赤色救援会上伊那地区の名前を使って活動を始めた。地区ニュースを出したり、主として4・16事件の弾圧犠牲者とその家族の救援活動を行ってきた。(文中敬称略) 境区 有賀光良



反戦を呼びかける共産党の宣伝物

伊那谷の歴史散歩

【日本反帝同盟】一九二九年十一月、対支非干渉同盟、日本反戦同盟から発展して結成された反戦と反帝国主義の運動に取り組んだ団体。全国農民組合や労働組合の全協、中国や朝鮮の留学生も参加。小林多喜一もここで執行委員として活動していた。

随想

生前葬を終えて

長谷 大出達雄

1927年5月生まれ85歳、私の人生はひたすら前を見て歩き続けてきた。

その間に会った人は数え切れないが、年賀状でのつながりは300人程いる。とりわけ現職の時代から地域の子育て運動を通して関わってきた「青少年女センター」で共に育ち合った人たちは一万を超える。

子ども・青年が主人公の自治を基調にしたキャンプは、自然豊かな鹿嶺高原だけでも、1989年から19回、多い時には1000名を超える参加者のキャンプ本部長として、ある面では命をかけて続けてきた。同時期に浦の分校を譲り受け、中学生夏の学校を開校し、全国から中学生を受け入れてもきた。

今、新自由主義に悩まされている人たちと共に、自らも励まし、残る人生を生き抜いていきたい思いを東京センターに伝えると、「生前葬」大出達雄先生を励ます集いを、去る8月11日に企画してくれた。中尾座の第1部には、東京はじめ地元や全国からの98名に、鹿嶺高原のキャンプファイヤーでは千連れの若者50余名を前にして、大いに励まされた。

私はこれを、人生第3の誕生日(第2は1945年8月15日、海軍航空隊生き残り)として、これからも夢とロマンを追い続けたいと願っている。



催し案内

絵手紙

東春近 井口 芳子



飯島光豊後援会ゴルフコンペ
9月30日(日)

エースカントリー倶楽部
連絡先：飯島光豊(72-8487)

NEC住民訴訟第6回裁判

10月15日(月)午後4時45分長野地裁
午後2時15分市役所西側駐車場発

連絡先：NEC問題市民の会
代表 市川(73-2928)

上伊那医療生協病院健康まつり

10月21日(日)10時~
病院前駐車場

・無料健康チェック、震災支援バザー等
家族揃って楽しめる企画がいっぱいです。
連絡先：組合員センター(79-8702)

ワークショップ

「あなたがつくる伊那市政その2」

10月24日(水)午後7時~
伊那市中央区公民館 会議室

主催：のぞみの会

連絡先：井口(74-5826)

三峰川周遊ウォーキング

11月3日(土・文化の日)(雨天中止)
9時榛原河川公園集合

参加費 300円 豚汁サービス付き
主催：上伊那医療生協健康づくり委員会
申込先：組合員センター(79-8702)

上伊那新婦人創立50周年祝賀会

11月11日(日)午前10時~午後3時

大芝荘研修センター